

平成 30 年度 事業計画 及び 予算

NPO法人ちば子ども学研究会

1 事業実施の方針

「やさしい日本語」を今年度のテーマと定め、誰でもわかりやすい言葉を使って、子どもに関わる人たちがゆるやかなつながりを作り、大人も子どもも笑顔で過ごせる居場所を増やすために以下の事業を行う

■ 千葉大学教育学部小学校教員養成課程「地域子育て支援活動実習Ⅰ、Ⅱ」の開催協力

2006年度より協力してきたこの授業も今年度が最後となる。これまでを総括する活動を行う。

■ 「やさしい日本語」の活用方法を考える

「やさしい日本語」とは、普通の日本語よりも簡単でわかりやすい、人にやさしい日本語で、英語を使わない多言語対応コミュニケーションの手段の1つ。千葉市内でも外国にルーツを持つ子どもが増えている現状を踏まえ、HICプロジェクトだけではなく、日常にも取り入れられる方法を考える活動を行う。

■ HICプロジェクトの実施

多世代異文化交流の場として「やさしい日本語」を念頭に、子どもと大人がともに育ちあう場として、大学生と3H日本語学校の留学生が交流しながら、小学生向けイベントを企画実施する HIC プロジェクトを 7/24 に行う。

■ ゆるプロ情報交換会及びゆるプロ実行委員会の開催

地域で活動している人たちのゆるやかなつながりや学生たちと出会う場作りのために開催する。

■ ゆるプロ通信の発行

大学生と協力し、「大学生が友達に手渡ししたい」内容の地域情報紙を作成、発行する。

■ みんなで考えるスマホ・タブレット×育児の開催

千葉市内の子育て広場などで乳幼児の保護者向けスマホの使い方を考える子育て交流会を開催する。

■ ちばサンタプロジェクト

「ちばに笑顔を届ける」をコンセプトに、地域の人や大学生、留学生と協力して、イベントを 12/9 に開催する。

■ 「声で育む子どものこころ」講座 子どもゆめ基金助成事業

紙芝居や絵本によって親子がふれあう機会をもつ大切さを伝えるための講座全5回を開催する。

■ 土曜日学校@まちスポへの協力、放課後 子どもなんでも体験隊の開催

小学生の地域での居場所作りのために、NPO法人まちづくりスポット稲毛主催の土曜日学校に協力する。(前期6/9、後期未定)また、食育活動している「梅(うめ〜)」さんとヘルスメイトさんの協力を得ながら、放課後 子どもなんでも体験隊「失敗もごちそう!みんなでおやつを作ろう!」を開催する。(原則第4火曜日午後)

■ HP、ブログ、Facebook の更新

会の活動報告やイベント告知などの情報発信を行う。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時 (予定)	実施場所 (予定)	従事者 の人数	受益対象者の範囲 及び人数	支出額 (千円)
子育てに関する研修、学習の場を提供する事業	地域子育て支援活動実習 I, II の開催協力	通年	千葉大学	3 人	会員・学生 30 人	10
	「声で育む子どものこころ」講座の開催	4/26、5/10 5/24、6/14 6/28	海浜幕張	2 人	乳幼児保護者や成人 12 組	150
	「みんなで考えるスマホ・タブレット×育児」の開催	6 回	千葉市内	2 人	乳幼児親子	50
子ども向けイベント事業	土曜日学校の開催	6/9	まちスポ	2 人	小学生 25 人	0
	放課後子どもなんでも体験隊 失敗もごちそう の開催	5/22、 6/26、7/24		2 人	小学生 10 人	50
子育てに関する情報の発信、発行事業	HP・ブログ・Facebook の更新	随時		2 人	不特定多数	10
	ゆるプロ通信発行事業	7月、12月		3 人	不特定多数	30
大人も子どもも安心して過ごせる居場所作り	ゆるプロ	通年	市内 千葉大学		地域子育てに関	10
	HIC プロジェクト	7/24			心ある市民・学	20
	ちばサンタプロジェクト	12/9			生・留学生他	150

3 予算書

【収益の部】

科目	備考	予算額
1. 会費収益	入会金、年会費、賛助会費	30,000
2. 事業収益	助成金、参加費	200,000
3. その他収益	寄付金、利息	10,000
当期収益合計		240,000
前期繰越金		522,509
収益合計		762,509

【支出の部】

科目	備考	予算額
1. 事業費	子育てに関する研修、学習の場を提供する事業	210,000
	子ども向けイベント事業費	50,000
	子育てに関する情報の発信、発行事業	40,000
	大人も子どもも安心して過ごせる居場所作り事業	180,000
2. 管理費	会議費、交通費、印刷費、消耗品費、通信運搬費他	100,000
3. 予備費		182,509
当期支出合計		762,509